

すまないことをした。そのかわり、今度は少しおまけしてあげようかしら」という小さい声が、わたしの心のすみでささやいた。

が、それとほとんど同時に「いけない」と、わたしは、つぶやいた。

そうだ、さっきのは、やはり「ボール」でよかったのだ。ほんとうにそう考えたからだ。